

山口県阿武町 ～絶滅が危惧される和牛を救い、日本の伝統的な暮らしを守る～

日本に約175万頭いる和牛4品種(この4品種との交雑種含)

- 黒毛和種 …約1,720,000頭
- 褐毛和種 …約20,000頭
- 日本短角種…約8,000頭
- 無角和種 …約200頭

山口県でのみ生産されている無角和種(約7割が阿武町産)は、月の出荷頭数が…

なんとたったの**3頭**!!! (和牛全体の0.01%ほどの流通量)

一時は黒毛よりも高値で取引をされていたものの、食の好みの変化等により、サシが入る黒毛に比べて値段が下がり、生産者さんも減っていきました。その結果、最盛期には約10,000頭いた無角和種は減少。

最盛期には10,000頭近くいた無角和種。

当時の無角和種は、役牛(えきぎゅう)として田畑を耕し、草刈りをする役割を担うことで、人とともに暮らしていました。かつて人と無角和種が仲良く暮らす里の風景は昔は当たり前で、その風景の中には、循環型の仕組みが詰まっていた。

阿武町は、その循環型の仕組みを導入しながらアップデートすることで、希少な和牛から畜産の未来を変えようと取り組んでいます。

「日本の畜産を阿武町が変える！」

という思いで、産・官・学連携で行う私たちの無角和種の振興計画はすでにスタートし、まずは町の誇りとしての存在にするべく、各方面へ働きかけています。

しかし、阿武町は人口約3,000人の過疎の町で、人手不足です。そのため繁殖、肥育も従来のやり方だと、無角を増やすことはできないので、**IT技術**の積極的導入も含めた、100年後も続く**持続可能な畜産**を目指します。

そこで！持続可能な畜産の未来を作ろうとする阿武町の無角和種を応援していただける本気のパートナーを募集します！



現在の主な取り組み

放牧の推進

また、町の耕作放棄地などで放牧を積極的に行っています。
放牧することは、土地の保全、観光資源の整備、人件費の削減など、多くのメリットがあります。
放牧を活用した町づくりを進めています。
→牛と共に暮らす町へ



地域住民との出会い創出

地域の小学生と牛との触れ合いを生み出し、町の誇りとして認識してもらう取り組みも進めています。
そうすることで、無角和種の振興が町の誇りを生み出し、地域の活力につながることを狙っています。
→ビレッジプライドの醸成



阿武町役場まちづくり推進課
TEL:08388-2-3111
FAX:08388-2-2090
MAIL:machisui04@town.abu.lg.jp

無角和種は現在
生体で…800円/kgで
取引されているものの
これを…1200円/kgに
高めるために、

○認知=100周年のシンポジウム、無角和種を見に来るツアー、町内での試食会を開催

○販売=部位を適正価格で販売
客単価数万円のレストランでの提供

その効果が徐々に現れ、
末端価格は3年前の1.5倍に！
各種メディアにも掲載！

健康はいつの時代も人々の願い。健康にも良いと言われる純粋な肉の味を楽しむ人が増えてきて、赤身ブームと言われる状況になっています。

今はごく一部での提供ですが、これからもっともっと多くの人々にこの美味しさを届けられるように取り組んでいきます。

牛の未来を共に作り、畜産のモデルケースを阿武町と共に作っていきませんか？

